

## 自己評価総括書

令和3年1月29日  
尾道市立高西中学校

1 ミッション

自治的風土のもと生徒の主体性が育まれる教育の実現

2 ビジョン

- ・他者と関わりながら自ら学び続ける生徒を育てる学校
- ・これからの時代を生き抜く自己指導能力を育む学校
- ・自他ともに大切にできる豊かな心を育て、あたたかみのある学校
- ・家庭、地域とともにある学校

3 重点課題における成果と課題

① 集団づくりのカリマネの推進

特別活動の研究推進

○小集団での話し合い活動は、コロナウイルス感染症対策として付箋を用いたり、ホワイトボードを活用したりしながら行った。しかし、短時間での話し合い活動に制限したこともあり、十分な話し合い活動が行えなかった。

○特別活動と総合的な学習をつなぐ防災教育を取り入れた「総合的な学習の時間の単元開発を行うことで、教職員の総合的な学習の時間のねらいが明確になった。

●集団づくりのノウハウを教師自身が学ぶ必要がある。(学級経営案づくりに課題)

② 「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業改善のカリマネの推進による学力向上

○「授業スタイルを意識した授業」93.8%「まとめと振り返りの徹底」93.3%、とほぼ全教員が実施している。

○「課題解決学習」については、意識的に取組む職員が増え、すべての教科で単元開発ができた。

●教科の本質に迫るめあての設定については、課題が見られた。めあてと振り返りのつながり、めあてと評価規準のつながり等、めあてにこだわることでよりよい授業づくりにつなげていきたい。

③働き方改革のカリマネの推進

○仕事の見通しと主任・主事による進捗管理の徹底

○職能を伸ばす人材育成

○退校時間の設定により、主任主事による進捗管理が積極的にすすめられるようになった。

4 今後の取組の方向、改善策等

① 集団づくりのカリマネの推進「学級力の向上をめざして」

- ・引き続き思考ツールの使用により話し合いが深まる授業実践、研修の実施
- ・「高西 志プロジェクト」の推進
- ・キャリア教育と防災教育を軸にした総合的な学習の時間の単元開発

②授業改善のカリマネの推進「主・体・深の授業をめざして」

- ・個別最適な学びと協働的な学びの研究の推進
- ・今年度実施した研修内容や日常の授業のレベルアップ・チャレ・サポ研修の活用
- ・学力分析に基づく改善計画のPDCAの徹底と学力の向上
- ・単元構想図の作成と単元構想図に基づいた授業実践の徹底と授業スタイルの徹底

② 働き方改革のカリマネの推進

- ・主任主事による進捗管理の徹底とRPDCAサイクルを意識した取組の徹底

